



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第3号
令和5年11月20日

11月13日（月）に第3回学校運営協議会を開催し、学校運営等について協議しました。

〈校長挨拶〉

- ・4年ぶりとなる全校合唱コンクールを、保護者を招いて実施することができた。また、1年生は横浜方面、2年生は鎌倉方面に校外学習へ行ってきた。天候にも恵まれ、無事に全行程を終えることができた。
- ・3年生は10月から校長面接を実施している。どの生徒も緊張しながらも一生懸命面接に臨んでおり、ぜひ希望する高校へ合格してほしい。
- ・地域の行事も活性化してきており、中学生のボランティア募集もたくさんいただいている。公民館の文化祭や小学校の体験講座など、中学生が地域で活躍する機会を増やしていきたい。

□ 四中について〈生徒と委員の協議〉

生徒会本部役員、専門委員長や部長の代表者と協議会委員が、学校と地域について懇談を行いました。生徒たちからは、中学生ならではの様々な意見が出ました。

〈生徒からの意見〉

- ・四中は人権教育に力を入れている。人権チェックを行うことで、校内でふざけあいや差別、いじめもなく、気持ちよく生活できている。
- ・時事問題バトルに向けて、タブレットやテレビのニュース、新聞を活用して勉強をしている。
- ・主体的な生徒が多く、委員長や部長、生徒会へ積極的に挑戦する人が多い。
- ・校則について、検討委員会で靴下や髪型などについての検討を重ねている。
- ・勉強についていけなくなる人のための補習の時間があると嬉しい。
- ・体育祭以外にもみんなが参加できる行事がしたい。
- ・中山小、若宮小を含めた四中ブロックで、児童生徒の交流がしたい。



□ 学校運営について〈報告〉

- ・学力向上に向けて、教員の授業力向上チームを編成し、相互の授業参観を実施している。また、若年層の教員が増えているので、ICTの利活用や特別支援教育についての研修などを進めている。
- ・生徒の自己肯定感を高めるために、PIグランプリというスライドでプレゼンテーションを行う企画を学年や学校で行ったり、1～3年生を縦割りにしてオレンジリボン活動や合唱練習に取り組んだりしてきており、少しずつその効果が表れてきている。
- ・食育や眠育の啓発にも力を入れており、四中ブロック合同のアウトメディア週間を実施することで、規則正しい生活習慣の身に着けを呼び掛けている。

□ 教職員の任用に関する意見について〈協議〉

学校運営協議会として第四中学校に求める教職員について協議しました。協議内容をまとめ、「教職員の任用に関する意見書」を市川市に提出します。

〈委員からの主な意見〉

- ・若い先生を育てる中間層の先生が少ないのが現状だと聞いている。若手の教員をしっかりと指導できるリーダー的な先生に来てほしい。
- ・生徒に寄り添った指導ができる先生、多様性を認め合い人権意識の高い先生、積極的に部活動へ関わることのできる先生に来てほしい。



和やかな雰囲気のもと、活発な意見交換が行われました。委員の皆様、ありがとうございました。次回の学校運営協議会は、2月5日（月）に行う予定です。